

第638回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

テレビ番組
「B S N報道特別番組 Aの衝撃～コメ王国の正体～」
(2018年5月26日放送分)



平成30年6月20日

BSN新潟放送

第638回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成30年6月20日（水）午前11:00～

2. 開催場所 新潟市中央区 新潟放送 6F

3. 委員の出席

○委員側出席者（敬称略・順不同）

委員長 古賀 豊	委員 小島 良子
委員 池田 幸博	委員 服部 誠司
委員 石坂 智恵美	

○委員側欠席者（敬称略・順不同）

副委員長 佐藤 元	委員 高木 言芳
委員 小原 清文	委員 細田 康

○審議番組事前レポート提出

委員 渡邊 信子

○放送事業者側出席者

社長 佐藤 隆夫	常務 島田 好久
放送本部長 小原 弘志	営業本部長 金田 博幸
編成局長 増山 由美子	情報センター長 丹羽 崇

<説明員> 情報センター報道部 坂井 悠紀

事務局 阿部 基行（編成局テレビ編成部長）

4. 議題

1 報告事項 7月の番組について（各局長）

2 審議番組 テレビ番組

「B S N報道特別番組 Aの衝撃～コメ王国の正体～」
(2018年5月26日（土）午後4時00分～4時54分放送分)

5. 議事の概要

各局長からの2018年7月度番組報告等に続いて、テレビ番組「B S N報道特別番組 Aの衝撃～コメ王国の正体～」（5月26日放送分）について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見・質問～

- コメ王国の魚沼産コシヒカリが特Aから陥落して、産地の戸惑い・焦りなどをしっかりと捉えていた。分かりやすく理解できるよう言葉を繋いでいた。演出に頼らず、出演者の表情などを上手く使って伝えていた。過去の農政から米作りの課題などをしっかりと伝えていた。焦点が散漫する可能性もあるが、米作りに拘らない農業への提言を入れてもらえば良かったのかもしれない。
- 米について学ぶことが出来た。過去の映像を使い時代を分かりやすく描いていて、歴史を学ぶことが出来た。高齢者や子ども達で好むお米の食感に差がある。年代別に好む食感の研究が足りていないのかと感じた。JAが出ていなかった。JAの考えも番組の中に盛り込んでほしかった。
- 意欲作だと思った。挑戦的なタイトルで良かった。コシヒカリを柱にした農家と農政を…。アーカイブ映像を多用していてBSNらしくて良かった。
- 農業に携わる新潟県を支えた人たちをクローズアップしていた。農家だけでなく県民が興味を持つような様々な角度から取材していて良かった。消費者にマイナスイメージにならないかと危惧した。消費者に1時間は長いという印象を受けた。少し間延びしたイメージがある。30分が適しているのではないか。
- ドキュメンタリーは、ローカル局が担っていると改めて感じた。今回の番組の立ち位置が、お米に興味を持っている人（魚沼産コシヒカリが特Aから陥落した事）が前提になっていた。お米の問題は、人口減少と消費の減少が大きな問題で、問題の設定が若干あやふやだったような気がする。
- 続編は考えているのか？シリーズ「新潟の農業を考える」などとして、今後の動きを伝えて欲しい。最後の言葉の「まだ間に合う」を検証すべき。

～新潟放送 放送本部情報センター報道部 坂井悠紀ディレクターから～

- 貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。続編については、収穫を迎える中で品質や流通などを含め引き続き取材を続け、まとまった段階で放送したいと思っている。ここ数年お米に関する番組を制作していなかったので、新潟のお米が他の産地にどのようにみられているのか？とか米作りの歴史に触れつつ制作した。どのようなテーマで切り取るかは悩んだ。米農家にとって後継者不足も大きな問題であるが、今回はその辺のところを描くことが出来なかつたので、続編を作るようなら後継者不足問題も織り込んでいきたい。ご指摘を参考に、今後の番組作りに役立てていきたいと思います。本日はありがとうございました。